

## 令和元年度 第2回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和元年 10月28日(月) 14:20~15:50
2. 場 所 本校校長室
3. 出 席 廣木義久 委員(座長) 大阪教育大学 教授  
木下由季 委員 八尾市立八尾小学校 校長  
児玉 隆 委員 学習塾 代表  
松村康隆 委員 本校同窓会 副会長  
外山昭則 委員 本校PTA 会長  
※ 牧野好秀委員(八尾市立成法中学校長)は欠席
4. 協議概要 協議に先立って、授業観察、施設見学及び学校経営計画進捗状況等の報告を行いました。  
以下、協議中に出された委員の主な意見です。

### (広報活動について)

- 平成15年度あたりから右肩上がりでも国立大学の実績が上昇している。もっとうまく宣伝した方がいいのではないか？
- 平成14年に進路実績を向上させるための起爆剤のひとつとして八尾高校から大阪教育大学との連携について相談があった。また同時に学校協議会などでの委員の意見などを参考に先生方の工夫や頑張りがあったから現在の進路実績がある。これは八尾高校が頑張っている成果なので、八尾市の中学校の保護者の方に伝える必要がある。
- 進学実績も大切だが、楽しそうにしている授業風景やクラブなどを広報することも必要である。
- 楽しそうな雰囲気でも授業に参加していたが、そのような授業風景やクラブの風景をビデオにして説明会で流すことは、八尾高校の真面目で大人しいというイメージも変わるのではないか？

### (進路指導・自己実現について)

- 合格体験記をみると、具体的な目標をもっている生徒はしっかり書けている。目標がきまっていない生徒はあまりしっかり書けていないような気がする。大学の先でなにがしたいということが決まっていけば、早いうちから大学も選べるのではないだろうか。それが決まっている生徒はスタートが違わないだろうか。そのようなことを高校1年生の段階から指導ができればいいのではないか。
- 高校1年生ぐらいの早い段階での、企業見学もいいのではないかと卒業生にお願いすればいいのではないかと？

○将来やりたいことがあれば、目標達成のために厳しい学校でも行くという中学生はいる。中学生でそこまで考えている生徒は少ないが、八尾高生の場合は八尾高校に合格することが目標になっていて、合格してから次の目標を持っている子は少ないのではないかと。以前先生になるために大阪教育大学に行きたいという生徒がいた。そのために八尾高校に入りたと言った。中学校の成績を見ると八尾高校は難しかったが、努力して八尾高校に入学した。八尾高校入学後も努力を続け、先生になりたいという強い意志で大阪教育大学に入学した。

○国立大学でも推薦入試を増やすよう文部科学省からの指示がある。主体的な学習ができる生徒をとるための入試である。大阪教育大学は先生になりたい生徒をとりたい。そういった点でも目標を持つことは大事である。

#### (授業力向上・授業参観について)

○本日参観した数学の授業は、生徒が楽しそうに参加していた。

○若い教員が増えている。大学で教えているが、学生も変化している。スマホの影響なのか自分の意志をあまり表現してくれない。問いかけても反応してくれない。そのためコミュニケーションのとり方を変えていかないといけない。その点、今日授業をしていた先生は若いので、生徒との距離も近く、あのような授業をしていたとも言えるのではないかと。校内の授業力向上研修でベテランが授業をするのは良いことだが、若い先生が授業を行い、生徒とのコミュニケーションのとり方などを学ぶことも大事ではないかと。

○他校に授業見学に行くことがあるが、寝ている生徒もいる。しかし、今日のような生徒たちが集まって話しをする授業では、活気もあり深い学びに繋がっていると感じた。

○若い先生が多くなってきているので、若い先生が頑張れるような雰囲気 気づくりも大事である。

○プロジェクターの使い方に関しては、教員がアイデアを出し合い、活用することで授業の可能性が広がる。

○小学校では教科がきまっていないので、その年によって特定教科を重点的に研究している。大学の先生も招いている。子どもが自分で考えて学習できる時間をとって、話し合いや対話的な授業を研修している。それに関しては若い教員とベテラン教員の間に大差なく取り組んでいる。また職員室に目安箱を設置し、若い先生がなかなか聞けないことを紙に書いて入れることができるようにし、それを研修に活かしたりしている。

#### (その他)

○軽音楽部の活動で高津高校と合同で演奏会や練習会などを行っていることを聞いた。授業力向上や学力向上に焦点がいきがちであるが、八尾高校の文武両道、骨太の教育方針で、部活動にも力を入れている点を垣間見られた。

#### (人事に関する意見や要望)

○高校生と積極的にコミュニケーションをとれる先生がクラブでも授業でも必要。